

〔金城憲治議員 登壇〕

○5番 金城憲治君 ありがとうございます。それでは皆さん、改めましてこんにちは。質問の前に一言申し上げたいと思います。医療従事者の方々はもちろんのことですけれども、本町に勤めている職員の皆様も、通常の業務に加え、このコロナ禍において仕事の量が増えたとか、コロナのいろいろな支援策によって業務の煩雑化、そういったものにすごく一生懸命頑張っているなというふうに私個人としてはすごく感じています。改めて職員の皆様方に心より感謝申し上げたいと思います。それでは一般質問に入りたいと思います。

一般質問の1、本町の公立小中学校における多目的トイレの設置と洋式トイレの整備について。(1) 本町の公立小中学校及び公共施設にも、これからはLGBTに配慮した多目的トイレの設置が必要になると思われますが、本町の見解を伺います。(2) 本町の公立小中学校の洋式トイレの整備状況を伺います。以上、よろしくお願いします。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項1点目の(1)についてでございます。LGBTに配慮したトイレの必要性については十分に認識しております。

(2)についてです。本町の小中学校の洋式トイレの整備状況ですが、南風原小学校が便器65基中、洋式便器は45基で設置率が69.2%。津嘉山小学校が便器74基中、洋式便器は49基で設置率が66.2%。北丘小学校が便器93基中、洋式トイレの設置率が84.9%。翔南小学校、便器44基中、設置率が27.3%。小学校の合計が便器276基中、洋式便器が185基で設置率が67%です。中学校です。南風原中学校、便器69基中、洋式設置率が66.7%。南星中学校、便器62基中、洋式トイレの設置率が258%。中学校の合計が便器131基中、洋式便器が62基、設置率47.3%となっております。以上です。

○議長 玉城 勇君 5番 金城憲治議員。

○5番 金城憲治君 答弁ありがとうございます。それでは順次再質問していきたいと思っています。現在、本町に多目的トイレはどの程度設置されているのでしょうか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 現在、町内の小中学校のほうには、小学校16、中学校3という形になっております。19室ございます。

○議長 玉城 勇君 5番 金城憲治議員。

○5番 金城憲治君 今の数字ですけれども、各小学校、中学校の単位で教えてもらってもよろしいでしょうか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。南風原小学校が4、津嘉山小学校3、北丘小学校7、翔南小学校2、南風原中学校3、南星中学校はゼロになっております。

○議長 玉城 勇君 5番 金城憲治議員。

○5番 金城憲治君 公立の小中学校というところに限定していると思いますけれども、それ以外で多目的トイレは公共施設とかで設置されているところはないのでしょうか。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 今の質問に対してですね、公共施設としては公園、都市整備課のほうで管理しています公園のほうに多目的トイレがございます。

○議長 玉城 勇君 5番 金城憲治議員。

○5番 金城憲治君 すみません、じゃあ今の公園に設置されている箇所等をお教えしていただきたいと思いますけれども。

○議長 玉城 勇君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城政光君 お答えします。ちょっと今、正確な数字は言えませんが、各公園のトイレの箇所には多目的トイレがあります。ちょっと古いトイレで、本部公園は2か所ございますけれども、古いところにはございません。基本的にはトイレをつくっているところには、全て、古いトイレは除いてですね、ほかのところは全部ございます。ただ、陸上競技場のメインスタンドについては、ちょっとついていないところもございます。基本的に各公園のトイレを置いたところには多目的トイレも一緒にあるという形になっております。

○議長 玉城 勇君 5番 金城憲治議員。

○5番 金城憲治君 今公園以外の、例えば中央公民館であるとか、ちむぐくる館であるとか、そういった施設にも置いていますでしょうか。

○議長 玉城 勇君 生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長 島袋 健君 まず、中央公民館1つ、文化センターに1つずつ設置してございます。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午後 3 時 09 分）

再開（午後 3 時 09 分）

○議長 玉城 勇君 再開します。5 番 金城憲治議員。

○5 番 金城憲治君 じゃあ、今、各公共施設に結構公園とかにも多目的トイレというのが設置されているというふうに回答をいただきました。この多目的トイレですけれども、どの程度の方々が利用できる範囲のトイレというふうになっているのでしょうか。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午後 3 時 10 分）

再開（午後 3 時 10 分）

○議長 玉城 勇君 再開します。経済建設部長。

○経済建設部長 金城政光君 多目的トイレは、どなたでも利用できるという使い方です、基本的にはですね。先ほどのトイレの設置の件ですけれども、ちょっと条例の名前は忘れましたが、円滑な移動をどうのこうのするという法律がございますけれども、それに基づいて、これから今つくるようなトイレとかは全て多目的トイレと一緒に、ひとつかないといけないようなことになっていますので、新しい施設は全部ついているものと考えております。

○議長 玉城 勇君 5 番 金城憲治議員。

○5 番 金城憲治君 ありがとうございます。今、多目的というところであれなんですけれども、最近ではよく、みんなのトイレとか誰でもトイレとか多機能トイレとかというふうによく言われているみたいです。そういった形にするとですね、障害者の有無とか年齢差別、国籍、人種などにかかわらず誰も使いやすいように、使えるようなトイレというふうになっています。今までは車椅子の方を優先的にしたようなトイレだったのかもしれませんが、実際はベビーベッドで、お母さんがベビー車を押しながらそこで一緒にトイレに入れたりとか、そこでおむつが交換できたりとか、そういったようなものが最近は言われています。やっぱりこの小さい子供さんとか、そういったものに限らず、先ほど申し上げた性的な L G B T の方々にも、すごく躊躇される方々も広く利用していただけるというのが多機能とか、みんなのトイレとかと言われているんですけれども、最近オストメイトという言葉聞いたんですが、振興課のほうで、この言葉ご存じですか。

○議長 玉城 勇君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城政光君 はい、オストメイトの設置についても、これもちょっと公園等の場合はその規模によってこの設置を義務づけるところと、そうでないところがございます。それに従って役場のほうでも新しい施設をつくる場合は設置しているものと考えております。

○議長 玉城 勇君 5番 金城憲治議員。

○5番 金城憲治君 ありがとうございます。そのオストメイトというのは公園の規模によって設置義務であったり、そうでなかったりということがあるということですのでよろしいですかね。はい。また何ですかね、広く医療も発達していて、人工肛門であるとか人工膀胱であるとか、そういった方が普通に日常的生活ができるような状況になってきています。そういった方々は外に出るのがすごくおっくうであったりとか、それは何かというと、トイレの問題が非常にウエートが大きいというふうに言われています。そういった方々も日頃の健康とか、外に出ることによってすごく健康であったり、そういったことをもらえるというんですか、そういったものも一つの効果があると思いますので、もし今後、是非オストメイトとかも可能な多機能型のトイレの拡充をできれば増やしていけたらと思っています。また、学校においてもLGBTのお子さんであったりとか、もしくは教職員の方々もひょっとしたらいらっしゃるかもしれません。そういった中ですごく職場の環境という部分も考えた上で多目的、多機能的なトイレというのは必要ではないかと考えていますけれども、今、南星中学校には一つもないというふうに回答をいただきました。今後、多目的のトイレ、必要性については認識しているというふうに先ほど答弁がありましたけれども、何かしら、どのような方向性で、例えば設置を事業化していきますとか、そういったものってあるのでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 多目的トイレ、多機能のトイレについて、またそれからLGBTの部分も含めてではあるんですけども、今現在、必要性というものは我々のほうはきちんと認識して、整備ができるようにということではいろいろ情報を整理しています。ただ、物理的な空間であるとかその辺の問題もありますので、新しい施設を整備する際とか、また大きな事業で、大規模改修であるとか、そういうふうな場合をもって、そういう計画も進めていければというふうに今考えています。また先ほど経済建設部長のほうからもありましたが、新規に新しい施設を計画する際には、そういった施設については計画をしっかりと検討して、設置できるようにしていきたいと考えています。

○議長 玉城 勇君 5番 金城憲治議員。

○5番 金城憲治君 ありがとうございます。必要性はすごく認識していらっしゃって、

今後またきちんと取り組んでいきたいという回答でしたので、非常に心強く感じております。やっぱり何と言うんでしょうか、南星中学校においては一つもないという現状からすると、結構急ぐべきものなのかなというふうに考えています。今、部長のほうでは大規模改修であつたりとかというふうにおっしゃっていましたが、南星中学校の体育館も避難施設として指定されていたりとか、そういったものがありますので、例えば防災機能強化事業とかの補助金、そういったものをうまく活用しながら、できれば早急に一つ体育館の横にそういった形で設置ができるとか、そういったものを是非検討していただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 その辺については、こちらのほうで再度現状の把握に努めまして、補助金とか財政のほうとも相談をしながら検討を進めていきたいと思ひます。

○議長 玉城 勇君 5番 金城憲治議員。

○5番 金城憲治君 ありがとうございます。是非ご検討していただいて、いろんな補助金とかがあるかもしれませんので、是非お願いしたいと思ひます。

次に学校の洋式率でありますけれども、先ほどの、答弁において、数字を足してですね、南風原町の公立小学校における洋式の設置率、平均すると60.68%というふうになります。県の平均が68%だったかな。そうですね、県の平均が68.4%となっています。数字から見ると、洋式率としてはすごく高い数字なのかなというふうに私個人的には思っています。ただ、その内訳として、先ほどもおっしゃったように、翔南小学校が27%、南星中学校においては25%、そのほかの学校も約70%近くが洋式化されていますという現状があると思ひますが、その現状についてはどのように考えていますでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん 答えします。学校別にちょっとばらつきがあるのはですね、大規模改修を行った学校については設置率が高いということになっております。今後、低いところに関しましては前向きに検討させていただきたいと思っております。

○議長 玉城 勇君 5番 金城憲治議員。

○5番 金城憲治君 確かに今おっしゃっていただきました、ありがとうございます。以前も、何年前にも同じような質問があつたかと思ひますけれども、そのときから余り数字がほとんど変わっていないのかなというふうに感じています。そのときもたしか、恐らく北丘小学校の改修工事が終わった後のことだと思ひますけれども、前向きにきちんと検討していきますということがあるんですが、それからあまり進捗されていないという現状の要因としてはどのようなものが考えられるんでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん お答えいたします。それ以降の洋式化については壊れたときとか、大規模なトイレの改修が必要になったときに、随時洋式化に向けて検討して、導入していきたいという考えから行っております。

○議長 玉城 勇君 5番 金城憲治議員。

○5番 金城憲治君 これは私個人の客観的な意見になりますけれども、やっぱり教育環境の格差があるのではないかというふうにすごく感じます。今、どこの家庭でも和式という形のトイレというのはほとんどなくなって、子供たち、特に平成の後半生まれの子供たちについてはほとんど洋式で育ってきているという環境だと思います。確かに和式は、私たちもすごく使いづらいですし、洋式の方がすごく楽でもあります。そういった部分からすると、教育の環境的な面からすれば、同じ町内でそういった格差があるというのは少し何かしら影響がないとは言いきれないんじゃないかなと思っています。学校のトイレが乱暴に使われたり、清掃、目が届いていないこともあって、多くの子供たちが5Kというんですかね、暗い、臭い、汚い、怖い、壊れているというふうに揶揄されるという状況があります。これはほとんど和式のトイレが多分そういうふうになっているのかなと思います。何と言うんですか、そういった教育的な環境の面から何かしら効果はあると思うので、是非このトイレの、今弱い翔南小学校とか南星中学校の改修については、何かしら事業計画を考えていただきたいと思っています。もしトイレが洋式化されて、子供たちへの効果というのはどういうことなのかなと言ったらですね、子供たちがトイレに愛着というんですか、自分たちもトイレを造るときにこういったトイレにしてくださいとか、そういったものを学校側と生徒と本町の学校教育課の皆さんでこういったトイレを造っていきましょうとか、そういったきちんとした話合いを持った上でトイレを造っていただきたいというのがあって、そういったふうにすると効果的にはやっぱり、子供たちの意識がたかるというか、トイレに愛着、大切に使うようになったりとか、あとはトイレだけではなくて、校舎全体もすごくきれいに、大切に使うというふうになっています。教職員によってはそれは喜ばしいことなのかなと思います。先ほども言ったように洋式化だと、学校整備事業の補助金とかというのでも活用されて、何とかやっていただけたらというふうにも思っています。全額補助ではないので、また厳しいという状況はありますけれども、子供たちの教育環境を考えた場合、本町の予算の1%、もしくは0.5%でも構いませんので、一気にやるということではなくて、一つの箇所から毎年一つずつ改善していこうとか、そういった何かしらの計画を立ててほしいというふうに要望したいのですが、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 まさに耳の痛い話といたしますか、今議員が今回質問されて、改めて翔南小、南星中の洋式率の低さを痛感しております。まさにおっしゃるとおり、全て一

遍にということはかなり厳しいと思うんですけど、少なくとも町内の平均値ぐらいまでは、とにかく毎年でも財政と調整しまして、まずは多目的トイレというのは厳しいかもしれませんが、洋式化に向けては取り組んでいきたいと思いますので、ご理解のほどをよろしくお願いします。

○議長 玉城 勇君 5番 金城憲治議員。

○5番 金城憲治君 教育長ありがとうございます。子供たちにもすごくいい環境になれるように、私自身もいろんなことを勉強しながら、一緒に取り組んでいけたらと思っています。すごく前向きな回答をいただきましたので、ありがとうございます。これで一般質問を終わります。